



2024年3月期 第2四半期決算

2023年10月31日

連結損益計算書の概要

主要取引先の商流変更の影響で前年同期比で減収・減益となったが、電子・電気機器の伸長や政策保有株式の売却等により、売上高、営業・経常利益、純利益は当初計画を上回る

(単位:百万円)	22/9期 累計	23/9期 累計	増減(△印減)	
			差異	比率
売上高	114,780	93,223	△ 21,557	△18.8%
売上総利益	16,410	13,938	△ 2,472	△15.1%
営業利益	7,200	4,715	△ 2,485	△34.5%
経常利益	7,303	4,379	△ 2,924	△40.0%
四半期純利益	5,141	3,019	△ 2,122	△41.3%
(包括利益)	5,905	4,196	△ 1,709	△28.9%
1株当たり純利益	269.06円	161.35円	△ 107.71	—

《当期業績の概要》

◇売上高：大手半導体メーカー製品の商流変更の影響により減収

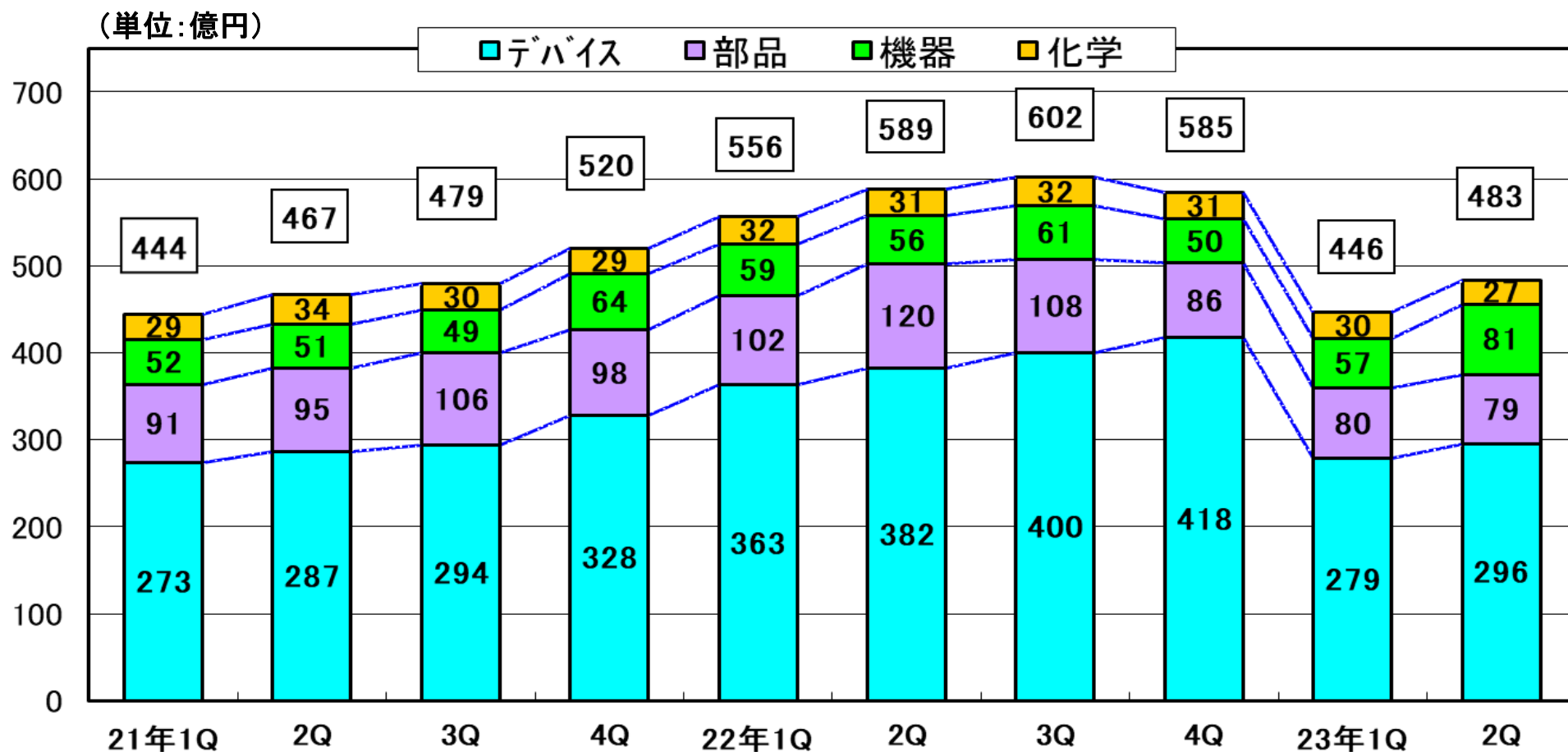
◇売上総利益：売上減少に伴う利益減少も、低収益性事業の終了や電子・電気機器の伸長により利益率は改善（前期2Q 14.3% ⇒ 当期2Q 15.0%）

◇営業・経常利益：売上減少に伴う利益減少、及び経常利益は為替ヘッジコスト上昇により為替差損を計上

◇純利益：特別損失発生も、投資有価証券売却益を計上

分野別連結売上高の四半期推移

- ◆ デバイス：商流変更の影響や民生機器向け中国市場低迷も、車載用途ICは販売堅調
- ◆ 部品：中国の景気回復の遅れにより民生機器、モバイル向けコネクタ類が減少
- ◆ 機器：真空機器とPCB関連の大型案件が計画より前倒しで進捗
- ◆ 化学：石油・石化向けと紙・パルプ向け工業薬品は堅調も、化粧品原料は需要低迷



セグメント情報の概要

電子部品事業と工業薬品事業が商流変更や市況の変化の影響を受ける中、電子・電気機器事業は増収・増益で推移

(単位:百万円)		22/9期	23/9期	増減
電子部品	売上高	96,701	73,436	△ 23,265
	セグメント利益	5,685	3,222	△ 2,463
電子・電気機器	売上高	11,540	13,780	2,240
	セグメント利益	1,193	1,355	162
工業薬品	売上高	6,262	5,755	△ 507
	セグメント利益	565	194	△ 371
その他	売上高	635	590	△ 45
	セグメント利益	156	14	△ 142
合計	売上高	115,139	93,562	△ 21,577
	セグメント利益	7,600	4,786	△ 2,814

《セグメント情報の概要》

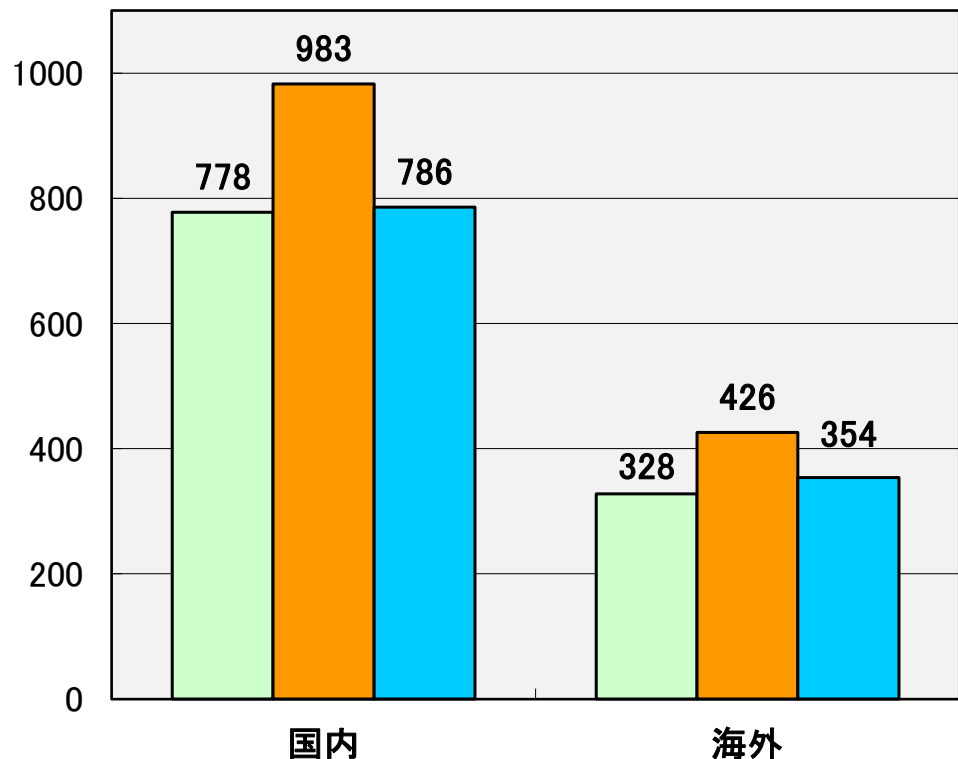
◆電子部品：商流変更、中国市場の低迷、為替影響による利益押し上げ効果の減少等により、減収・減益

◆電子・電気機器：真空機器とPCB関連の販売伸長により、増収・増益

◆工業薬品：化粧品原料の販売減少と原材料価格の上昇等により、減収・減益

※1. 売上高はセグメント間内部取引消去前（同一セグメント内取引は相殺済）の金額

(単位: 億円) 売上高(単純合算)



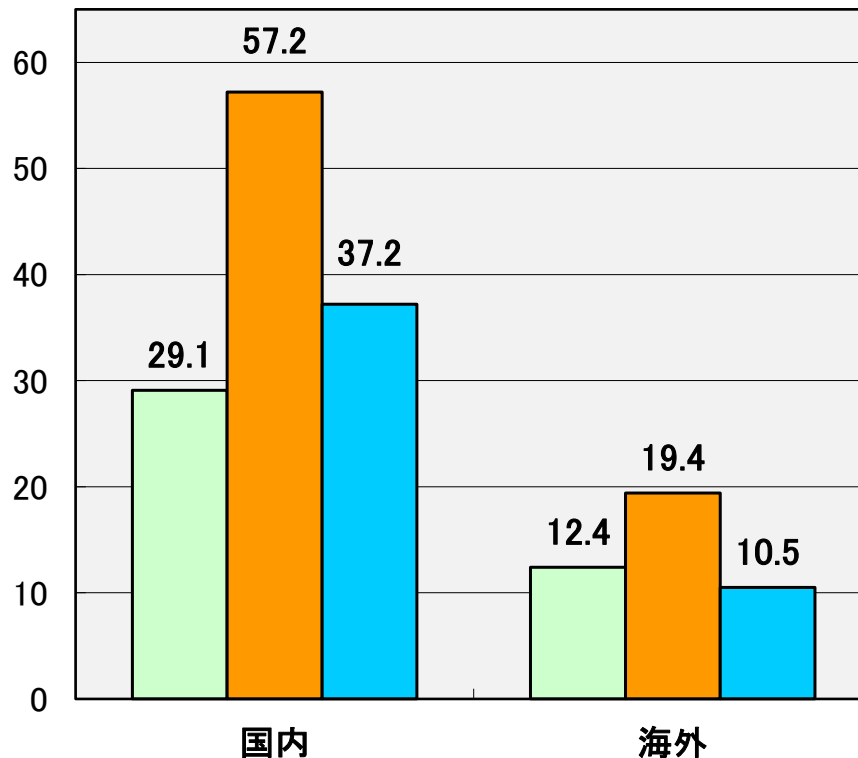
国内(伯東+連結子会社2社)

伯東、モルデック、HAL

海外(連結子会社9社):

伯東香港、上海、台湾、シンガポール、タイランド、他4社

(単位: 億円) 営業利益



□ 22/3期2Q実績

■ 23/3期2Q実績

■ 24/3期2Q実績

連結貸借対照表

資金負担の大きな商流が後任代理店へ移管された結果、運転資本と有利子負債が圧縮
 コロナ後の現預金残高の見直しや政策保有株式の縮減により、バランスシートをスリム化

(単位:百万円)	23/3期	23/9期	増減 (△印減)
総資産	145,900	136,029	△ 9,871
内: 現預金	16,751	15,829	△ 922
内: 売上債権	58,853	49,219	△ 9,634
内: たな卸資産	47,973	51,087	3,114
内: 投資有価証券	9,288	8,149	△ 1,139
総負債	82,036	70,867	△ 11,169
内: 仕入債務	26,569	26,353	△ 216
内: 有利子負債	42,085	33,878	△ 8,207
純資産	63,863	65,161	1,298
自己資本比率	43.8%	47.9%	—

《主な増減理由》

- ◆ 現預金：連結CF参照
- ◆ 売上債権：商流変更に伴う移管在庫に係る債権の回収により減少
- ◆ 棚卸資産：半導体需給緩和に伴う仕入増やBCP在庫保有等により増加
- ◆ 投資有価証券：保有株式の売却により減少
- ◆ 有利子負債：運転資本圧縮に伴う借入金減少（短期△54億円、長期△29億円）
- ◆ 純資産：有価証券評価差額金△5.6億円、為替換算調整勘定+16億円

連結キャッシュ・フロー

資金負担の大きな商流が後任代理店へ移管された結果、営業CFが大幅に改善
政策保有株式の売却収入もあり、有利子負債が大幅に圧縮

(単位:百万円)	22/9期	23/9期	増減 (△印減)
営業キャッシュ・フロー	△ 8,989	8,696	17,685
投資キャッシュ・フロー	△ 239	1,208	1,447
財務キャッシュ・フロー	7,932	△ 11,374	△ 19,306
換算差額	846	546	△ 300
現金・現金同等物の増減額	△ 449	△ 922	△ 473

現金・現金同等物の 四半期末残高	18,170	15,829	△ 2,341
---------------------	--------	--------	---------

《今期の主な内訳》

- ◆営業CF：売上債権の減少+107億円、棚卸資産の増加△21億円、仕入債務の減少△5.4億円、法人税の支払△18億円
- ◆投資CF：投資有価証券の売却収入+17億円、固定資産の取得△4.9億円
- ◆財務CF：借入金の返済(純額)△83億円、配当金の支払△30億円

2024年3月期 通期業績予想

直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

(単位:百万円)	23/3期 通期実績	24/3期			増減	
		上期(実績)	下期(予想)	通期		
売上高	233,624	93,223	96,777	190,000	△43,624	△18.7%
売上総利益	32,379	13,938	13,762	27,700	△4,679	△14.4%
営業利益	12,711	4,715	3,285	8,000	△4,711	△37.1%
経常利益	12,048	4,379	3,221	7,600	△4,448	△36.9%
当期純利益	8,929	3,019	2,381	5,400	△3,529	△39.5%
EPS	470.52			288.87	△181.65円	—
ROE	14.2%			8.5%	△5.7P	—

【通期業績予想の据え置き理由】

- ◆ 上期…半導体デバイス(車載関連)及び、電子・電気機器(PCB関連・真空機器)を中心に期初計画から上振れ、期初計画に織り込まなかった為替影響も円安により利益を押し上げ
- ◆ 下期…世界経済の下振れリスク、エレクトロニクス製品の需給動向や為替影響等の外部変動要素も不透明感が強く、通期業績を据え置き

配当の状況

直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

基準日	1株当たり配当金						配当金 総額 (年間)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第2 四半期末		期末		年間				
2022年3月期	円	銭	円	銭	円	銭	百万円	%	%
2022年3月期	60	00	100	00	160	00	3,182	64.4	5.4
2023年3月期	120	00	160	00	280	00	5,292	59.5	8.5
2024年3月期(予想)	140	00	140	00	280	00	—	96.9	—

- ◆ 現中期経営計画期間中(2022年3月期～2025年3月期)は、配当と自己株式の取得により、総還元性向100%を目標とする株主還元を実施

本資料にて記載されているデータ及び将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により変化する可能性があります。従いまして、本資料は記載された目標・予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。

< IRに関するお問合せ先 >

経営企画部 tel.03-3225-8931